

金山町 議会だより

第193号

平成28年5月17日

発行 金山町議会

編集 議会だより編集特別委員会

〒968-0011

福島県大沼郡金山町大字川口字谷地393

☎ 0241-54-5341



4月16日に行われた「沼沢湖ヒメマス漁解禁記念式典」で、
あいさつする 鈴木茂沼沢漁協組合長

〔3月定例会のあらまし 会期／3月10日～17日〕

(ページ)

3月定例会 平成28年度当初予算を可決……………2～5

議案等審議結果一覧、選挙、要望活動……………6～9

一般質問に8人登壇……………10～17

前年比 2 億2,069万円(6.8%)減

06万円を可決

3月 定例会



「全員賛成」で採決（起立）した平成28年度一般会計予算

3月定例会は、3月10日から17日にかけて開催されました。平成28年度当初予算など39の議案と議員提出議案3件が提案され原案どおり可決しました。選挙管理委員等の選挙も行いました。平成28年度一般会計予算は、歳入歳出とも30億2306万円で、前年度比2億2069万円の減となっています。一般質問には8人の議員が登壇し、町政をたどりました。

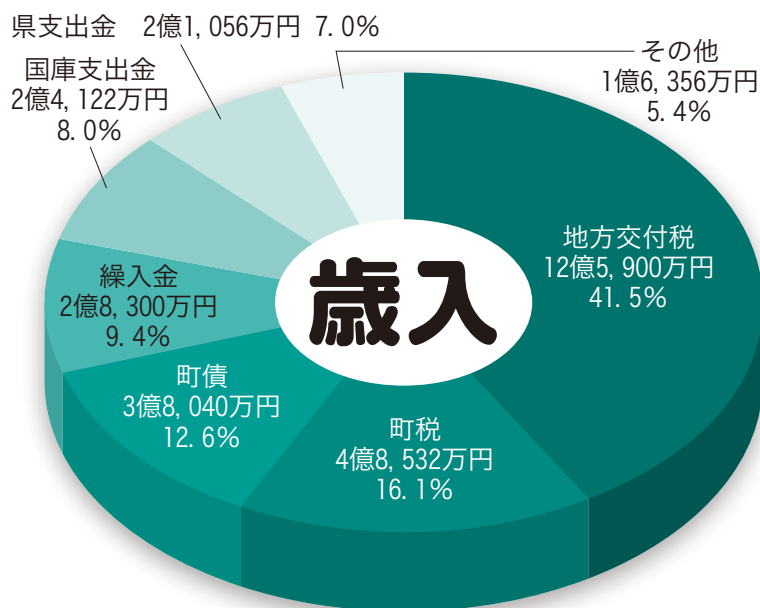
一般会計の概要

大型事業の減少 復興基金事業終了

平成28年度一般会計当初予算は30億2306万円で、前年度と比較して2億2069万円(6.8%)の減となっています。減額の主な要因は、大型公共事業の減少や豪雨災害の復興基金事業や東日本大震災復興基金事業の終了によるものです。

固定資産税の増 地方交付税の減少 財調基金等繰入増

前年度と比べ、発電事業者の設備更新等による大規模償却資産に係る固定資産税が、2504万円の増。地方交付税は、3900万円の減。その

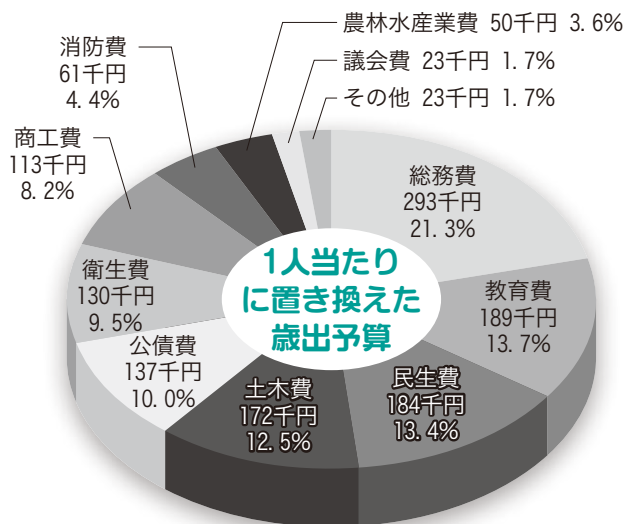


振替分の臨時財政対策債は前年同額(8100万円)。繰入金の只見川豪雨災害復興基金及び東日本大震災復興基金は27年度で終了したので、1億2900万円の減少。財源補てん的な基金の財政調整基金等は、2億2928万円で4729万円の増になっています。その他、少子化対策基金から2414万円の取り崩しを行っています。

保養センター改築 8400万円

歳出の内、投資的事業は、保養センター改築8400万円、定住促進住宅建設5140万円等です(主な投資的事業参照)。その他としては川口高校存続事業に1億1953万円。福島県只見線復興基金事業に3451万円等があります。

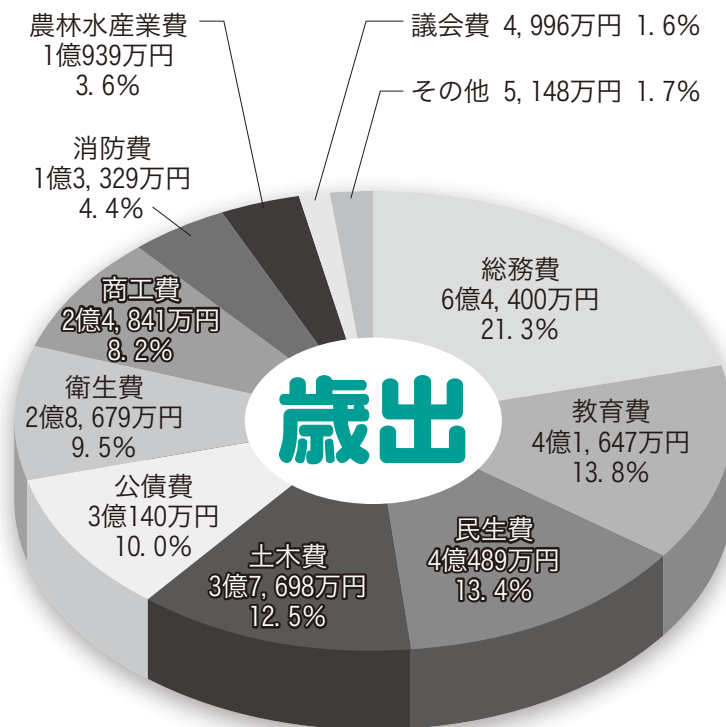
町民1人当たり 1,375千円の予算 (一般会計)



平成28年4月1日現在
(外国人含む) 2,198人

1人当たり
に置き換えた
歳出予算

平成28年度一般会計 30億2,3



歳出

主な投資的事業

事業名	事業費
保養センター改築工事（備品購入等含む）	8,400万円
町道 中川・大栗山線改良工事	6,110万円
ラジオ中継局建設工事	5,201万円
定住促進住宅建設整備事業	5,140万円
中学校エレベーター棟増築工事	4,900万円
除雪機購入事業	2,400万円
町道維持修繕工事	2,000万円
スキー場リフト修繕事業	2,000万円
大塩運動場管理棟整備事業	1,240万円
福祉バス購入事業	1,007万円

平成28年度特別会計予算（当初）

特別会計名	平成28年度 当初予算	前年度比 増減額
国民健康保険事業（医療費等）	4億2,481万円	△3,383万円
国民健康保険施設（診療所運営）	1億3,942万円	334万円
介護保険	5億1,082万円	△2,975万円
後期高齢者医療	4,630万円	13万円
町営バス事業	1,687万円	△69万円
簡易水道事業	2億6,187万円	△6,796万円
農業集落排水事業（田沢地区）	449万円	69万円
特定地域生活排水処理事業（合併処理浄化槽）	1億7,682万円	1,137万円
特定環境保全公共下水道事業（川口地区公共下水道事業）	3,718万円	723万円

財源補てん的な基金の残額

※平成27年度末（見込み）

① 財政調整基金	9億679万円
② 公共施設整備基金	2億94万円
③ 電源立地地域対策交付金維持補修基金	1029万円

当初予算（議案審議）

保養センター 秋オープン目指す

問 保養センター改築6900万、この予算を執行することによって保養センターは完全にでき上がるのかどうか、そしてオープンにこぎつけられるのかどうか。

答 産業課長 外構工事と浄化槽の設置工事を予定しています。外構は建物周辺のアスファルト舗装が約1300㎡、山側と町



建設中の保養センター

地域コミュニティの場ということ、分湯料を徴収することは考えていません。

最終処分場の 今後は

問 旧衛生処理組合の最終処分場、昨年から経過と今年度はどんな内容になっている。

答 住民課長 三島町、柳津町、金山町、昭和村の4町村で対応しているところですが、実質、事務局は三島町です。27年度で数百万単位の多額の負担金、計上していると

玉梨温泉 分湯料50万円

問 内容は。

答 産業課長 件数は1件で44度程度の源泉を毎分約80ℓ、1年間分湯する内容です。

問 災害等で、温度や湯量が変わった場合、損害賠償をするのか。

答 産業課長 今後検討し、両者合意の上で契約します。

問 八町の共同浴場への分湯については。

答 産業課長 基本的に

答 町長 三島町が事務局をやっているから安閑としているわけではありませんが、大至急その調査結果、その成果品をできるだけ早くいただいて、どのくらい各町村が負担しなければいけないのかということも含めて、これから検討します。

6次化支援 不十分だ

問 6次化支援事業54万円の事業内容は。

答 産業課長 28年度は、当面フリーズドライ（真空凍結乾燥機使用時の電気代）の3分の2の補助でスタートし、次のステップの商品開発の助成も検討します。

問 一昼夜フリーズドライを使わないと中々商品化できない。6次化するため電気代は、1時間400円だから約1万円近くかかる。3分の2支援ということだけでは不十分だと思ふ。

答 産業課長 1世帯当

観光物産協会 新事務所で活動

問 観光物産協会の補助として800万、中身は。

答 産業課長 正職員1人、臨時職員1人の2名体制でスタートします。事務



新事務所前で観光物産協会の小沼君

たり、3回を限度とし、1回当たりの稼働時間は60時間。1世帯については最大180時間の稼働ができる計画です。今後は生産者、加工者の実際の実績とか意見を聞きながら、より良い方向を見つけないが進めていきます。

きれいな まちづくりで 雇用・定住対策

問 町景観整備事業650万、雇用の創出という話だが、内容は。

答 産業課長 2人から3人の雇用を予定しています。雇用の場の確保ということ、きれいなまちづくりをメインにして、定住・移住に結びつけた事業とします。町の観光施設の草刈りや、諸々の整備を予定しています。主に沼沢湖周辺の町観光施設を管理して、きれいなまちづくりを行いながら交流人口の確保に努めていきたいと考えています。委託先

所については、今年の4月に川口駅前「あおぞら整骨院」脇の空きスペースの中に新しい事務所を構える考えでいます（3月までは役場内に事務所）。そこに移った段階で、観光案内や宿泊案内もできるので、ある程度の効果を期待しています。

は、(株)会津かねやまを
予定しています。

川口高校ボート 船着場整備に助成

問 川高桐径会に107
5万9000円補助。昨
年よりも150万ほどア
ップの説明、ボートの船
着き場等(棧橋)の整備
との説明だが、いつ使用
開始できるのか。

答 教育次長 工事は町
が実施主体ではなく桐径



▲棧橋の完成を待つ川高ボート部艇庫

会に町が補助をし、桐径
会が棧橋をつくります。
現在その手前、棧橋の山側
のほうに階段を設置する
工事を宮下土木事務所で
実施する予定になってい
ます。それ以降、棧橋の工
事になると思いますので、
今のところ、完成時期は未
定です。桐径会を通じて
なるべく早く設置できる
ように働きかけをします。

問 町税や固定資産税の
滞納がある。回収の取組
みはどうする。

答 住民課長 電話や訪
問による催告・徴収、分納
誓約書の管理の徹底、更
には預金を中心とした差
し押さえにより滞納金を
減らす取組をしています。

滞納対策は 差し押さえも

問 町税や固定資産税の
滞納がある。回収の取組
みはどうする。

答 住民課長 電話や訪
問による催告・徴収、分納
誓約書の管理の徹底、更
には預金を中心とした差
し押さえにより滞納金を
減らす取組をしています。

27 一般会計補正予算(議案審議)

ホダ木の処分 実施せず

問 農林業系廃棄物処
理、「ほだ木」を撤去す
る予算だったわけだが、
しなかったから減額した
という理解でよろしいか。

答 産業課長 会津管内
の運搬業者は見つかった
のですが、風評被害等の心
配で、処分するゴミ焼却
場が見つからないという
ことで減額するものです。

答 町長 相手先(搬出
先)の話もあることなの

で、理解が得られないだ
ろうと判断し、町の事業
としてはやるべきではな
いと判断をしました。

エゴマ作付け奨励金 何のために

問 エゴマ作付け奨励金、
27年度の実績と、奨励金
の目的は。

答 産業課長 予算では
160万円、2000キ
ロの生産量を見込んでい
ました。2月末現在では、

500キロです。奨励金
の目的は、地域特産農産
物としてのエゴマの生産
拡大と生産者の所得向上
です。生産したエゴマを
原料として販売する生産
者に対して1キロ当たり
800円を補助します。

問 作付けを奨励する目的
の中に、「健康寿命の延
伸」は考えているのか。

答 産業課長 事業要綱
の中では、エゴマの生産拡
大と所得向上、町民の健康
増進という3つについて
うたっています。「健康
寿命の延伸」もこの事業
の中では考えています。

問 エゴマ油を金山町民
が利用されているのか疑



▶エゴマの生産拡大で「健
康寿命の延伸」を

問。買い求めようとしても、
町内で中々手に入らない。

答 町長 残念ながら、そ
れだけの量が確保できな
いので、何とか生産拡大を
図りたいと補助金制度を
つくりました。しかし、思
うような結果に至ってい
ないのが現実です。よそで販
売する前に町民に配れる
ようなシステムを、ぜひつ
くってみたい。それによ
って「健康寿命の延伸」を
図りたいと思っています。

農業機械助成 3分の2補助

問 農業団体等支援事業
500万、内容を教えて。

答 産業課長 耕作放棄
地の解消、町内農地の保
全を図るための事業で
す。農業機械に対する助
成で、交付の対象者は、
町が認定した農用地利用
改善組合、認定農業者、
農業法人、1ha以上の農
地を経営している農業
者、任意の農業団体(5人
以上の農業の任意の団体
で規約がある団体)です。

問 定住促進の資格取得
支援、年齢制限等は。資
格に何か制約があるの
か。通勤のために自動車
の免許証を取りたい場合
でも対象になるのか。

答 復興政策課長 年齢
制限は、50歳未満。若者
よりも少し上の世代も対
象。移住・定住を含めた
狙いを持っています。資
格取得を既にしてしまっ
た方でも、資格取得の日
からさかのぼって1年以
内に受講した場合も対象
とします。現在、普通免許
は対象としていません。運
送関係に必要な第一種運
転免許(大型自動車・大
型特殊自動車等)とか、
フォークリフトの免許は
対象にします。金山町で
仕事なり、あるいはこの
町が必要としているよう
なもの、例えば狩猟免許
や、チェーンソーの作業
従事員の資格等を対象と
しています。今後色々な
意見を聞きながら見直し
たいと考えています。

若者定住 資格取得支援

問 定住促進の資格取得
支援、年齢制限等は。資
格に何か制約があるの
か。通勤のために自動車
の免許証を取りたい場合
でも対象になるのか。

答 復興政策課長 年齢
制限は、50歳未満。若者
よりも少し上の世代も対
象。移住・定住を含めた
狙いを持っています。資
格取得を既にしてしまっ
た方でも、資格取得の日
からさかのぼって1年以
内に受講した場合も対象
とします。現在、普通免許
は対象としていません。運
送関係に必要な第一種運
転免許(大型自動車・大
型特殊自動車等)とか、
フォークリフトの免許は
対象にします。金山町で
仕事なり、あるいはこの
町が必要としているよう
なもの、例えば狩猟免許
や、チェーンソーの作業
従事員の資格等を対象と
しています。今後色々な
意見を聞きながら見直し
たいと考えています。

■ 議案等審議結果一覧

※議長は、採決に加わりません（賛否が同数の場合には議長が採決します）

件 名	議決結果	賛 成	反 対
平成28年度金山町一般会計予算	可決	9	0
平成28年度金山町国民健康保険特別会計予算	可決	9	0
平成28年度金山町簡易水道事業特別会計予算	可決	9	0
平成28年度金山町町営バス事業特別会計予算	可決	9	0
平成28年度金山町農業集落排水事業特別会計予算	可決	9	0
平成28年度金山町介護保険特別会計予算	可決	9	0
平成28年度金山町特定地域生活排水処理事業特別会計予算	可決	9	0
平成28年度金山町後期高齢者医療特別会計予算	可決	9	0
平成28年度金山町特定環境保全公共下水道事業特別会計予算	可決	9	0
平成27年度金山町一般会計補正予算（第8号）	可決	9	0
平成27年度金山町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）	可決	9	0
平成27年度金山町簡易水道事業特別会計補正予算（第4号）	可決	9	0
平成27年度金山町介護保険特別会計補正予算（第4号）	可決	9	0
平成27年度金山町特定地域生活排水処理事業特別会計補正予算（第4号）	可決	8	1
平成27年度金山町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	可決	9	0
平成27年度金山町特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）	可決	9	0
金山町空家等対策協議会条例の制定について	可決	8	1
金山町行政不服審査会条例の制定について	可決	9	0
金山町行政不服審査法関係手数料条例の制定について	可決	9	0
行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備等に関する条例の制定について	可決	9	0
会津みどり農業協同組合の名称変更に伴う関係条例の整備等に関する条例の制定について	可決	9	0
雪上車の設置運行に関する条例の廃止について	可決	9	0
金山町東日本大震災復興基金条例の廃止について	可決	9	0
金山町温泉の設置及び管理運営に関する条例の廃止について	可決	9	0
職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について	可決	9	0
職員の給与に関する条例の一部改正について	可決	7	2
金山町税条例等の一部改正について	可決	9	0
金山町国民健康保険税条例の一部改正について	可決	9	0
金山町「休養施設」国民保養センター設置条例の一部改正について	可決	9	0
金山町ひとり親家庭医療費の助成に関する条例の一部改正について	可決	9	0
金山町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正について	可決	9	0

件名	議決結果	賛成	反対
金山町生活排水処理施設設置条例の一部改正について	可決	9	0
金山町道路占用料徴収条例の一部改正について	可決	9	0
金山町定住促進住宅条例の一部改正について	可決	9	0
金山町消防団設置等に関する条例の一部改正について	可決	9	0
金山町過疎地域自立促進計画の策定について	可決	9	0
辺地総合整備計画の変更について	可決	8	1
選挙管理委員及び選挙管理委員補充員の選挙	可決	9	0
専決処分に関する承認について	可決	9	0

■ 請願・陳情

件名	議決結果	賛成	反対
看護師・介護従事者不足解消のため、看護師等の労働環境改善で安全・安心の医療・介護を求める意見書提出の請願	採択	9	0
給付型奨学金の導入・拡充と教育負担の軽減を求める意見書提出の陳情	採択	9	0
「玉梨・八町温泉源泉流出の復元を求める意見書」提出を求める請願	採択	9	0
「玉梨・八町温泉源泉流出の復元を求める意見書」提出を求める請願	採択	9	0
福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出の陳情	採択	9	0

■ 議員提出議案

件名	議決結果	賛成	反対
看護師等の労働環境改善による安全・安心の医療・介護を求める意見書の提出について	可決	9	0
給付型奨学金制度の導入・拡充と教育負担の軽減を求める意見書の提出について	可決	9	0
福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書の提出について	可決	9	0

■ 意見書

議員提出議案として上記表の通り、意見書が可決され、関係機関に送付しました。

■ 請願と陳情

3月定例会では、上記表（議案等審議結果一覧）の通り採択されました。

■ 選挙

選挙管理委員

選挙管理委員補充員

佐藤 光一（大塩）
菅 哲夫（本名）
目黒 喜代子（八町）
山口 德行（板下）
栗城 英雄（山入）
新國 三枝子（横田）
若林 照枝（川口）
星 賢孝（三更）
栗城 英雄（山入）

以上の方々を当選人と決定しました。

只見線の早期全線復旧 本名バイパス整備促進 只見川河川整備の早期実施

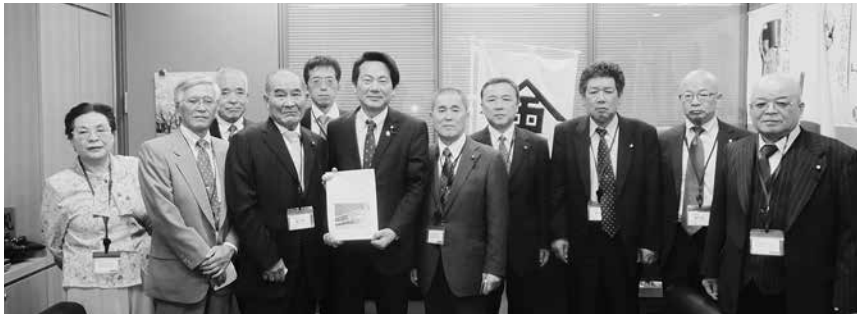
3月24、25日に衆参議員会館（東京都千代田区永田町）等を訪ね、国会議員へ「只見線早期全線復旧等」の要望活動を実施しました。



菅家一郎衆議院議員と協議の様子

国会議員へ要望

▶ 小
熊
慎
司
衆
議
院
議
員
に
要
望



▶ 岩
城
光
英
法
務
大
臣
に
要
望
（大臣室にて）



▶ 増
子
輝
彦
参
議
院
議
員
に
要
望



▶ 佐
藤
信
秋
参
議
院
議
員
に
要
望



■ 要望先国会議員 ▼ 衆議院議員

小 熊 慎 司 氏 ※
菅 家 一 郎 氏

亀 岡 偉 民 氏
玄 葉 光 一 郎 氏
根 本 匠 氏
金 子 恵 美 氏
吉 野 正 芳 氏
真 山 祐 一 氏

▼ 参議院議員

岩 城 光 英 氏
増 子 輝 彦 氏
森 ま さ こ 氏
佐 藤 正 久 氏
若 松 謙 維 氏
荒 井 広 幸 氏
山 口 和 之 氏
佐 藤 信 秋 氏 ※

※ 赤字ローカル線の
災害復旧等を支
援する議員連盟
会 長

佐 藤 信 秋 氏
事 務 局 長
菅 家 一 郎 氏

■ 只見線の早期全線復旧の要望



▲列車の運行が無く、時間が止まった「本名駅」

しかし、未だ会津川口駅から只見駅間は不通です。不通区間には「代行バス」により交通の確保はされておりますが、乗り継ぎの不便さもあり観光客の減少を招いております。

つきましては、一日も早いＪＲ只見線全線復旧を強く要望すると共に関係機関へのご配慮を賜りますよう切望いたします。

当地方にとりましてＪＲ只見線は、通学・通勤・通院をはじめとして、近隣市町村を結ぶ地域公共交通の要であると同時に、福島県、新潟県、そして首都圏を結ぶ重要な交通手段であります。特に、福島県立川口高等学校、只見高等学校にとりましては、多くの生徒たちが通学に欠かすことが出来ない生命線となるものであります。

ＪＲ只見線は、四季折々の美しさを醸し出す車窓からの風景が、全国的にも人気が高い路線であり、只見川沿いに点在する観光資源をつなぐ地域活性化の基盤となっております。

■ 一般国道252号本名バイパス整備促進の要望



工事に着手いただき感謝申し上げます。
完成までには多くの「時間」と「事業費」が必要です。

一般国道252号は奥会津地域住民の「命の道路」です。住民が安全に通行できるように、事業の早期完成にご尽力くださるよう要望いたします。

◀只見川橋梁（219m）の橋台完成。
霧来沢橋（161m）、トンネル（1,400m）は、未着工

■ 只見川河川整備の早期実施の要望



▲越川地区（下流に河川の狭窄部がある）
豪雨災害時は、住宅の2階部分まで浸水した

平成23年7月の新潟・福島豪雨災害から4年8カ月が経過しました。昨年「只見川圏域河川整備計画の変更」が認可され、いよいよ事業が動き出したところです。

しかし、只見川沿いの住民は、融雪期を迎え大変不安な日々をおくっております。早期完成が望まれます。
住民の「安全・安心な生活」のために河川整備に必要な財源確保に特段のご配慮をお願いいたします。



3年目の耕作が始まった本名下原地区

五ノ井義一議員の 一般質問



『28年度当初予算について』

堅実に積算した

問 今後予想される人口減による地方交付税はどのようなのか伺う。

答 町長 国勢調査で人口が5年前より287人減少しました。これを基に積算すると、前年度比数千円円の減と見込んでいます。そこに、社会情勢に合わせた積算項目等により、普通交付税を4000万円減（前年度比で計上し

ました。交付税算定は、人口だけでなく様々な要素により算定されます。将来的に大幅な減少はないと考えていますが、下降傾向であると見込んでいます。

問 財源補填的な基金繰入金の取り扱いについてはどうなのか。

問①財政調整基金は。

答 町長 財政調整基金は緊急的な災害復旧、その他の財源の不足が生じたときに活用できるような積み立てているもので、28年度は約1億8000万円

円を取り崩しました。

問 財政調整基金をこのまま取り崩していけば、もう数年で無くなる基金だ。我々も含めて一生懸命節約して、ある程度の基金は蓄えておきたいと考えているが。

答 町長 急激に減らすことは決してあってはならないと思っています。

問②公共施設整備基金は。

答 町長 施設の維持、修繕等を目的に積み立てているもので、5400万円を取り崩しました。

問 その基金の中から今年度2000万円、スキー場のリフト修繕に使っているが、以前、同僚議員とのスキー場の問題のやり取りの中で、町長は「平成29年度の事業（リフト架け替え）」として、

振興計画に1億1000万円」と言っている。振興計画に1億1000万円出てくるのか。

答 町長 これは非常に難しい問題だと思っています。これからスキー場の経営が予定どおりやっ

ていいの、色々検討しなければならぬ時期に来ています。

問 町長の一番の念願とする「交通体系の三元化」、いかがな予算かと思うが。

答 町長 予算の計上は少なかつたのですが、より良いものにしていくために庁内にプロジェクトチーム（副町長が座長）をつくりました。いきなり今年、来年、一元化できるかという疑問ですが、より良い交通体系を見つけたと思っています。

『災害復旧後の農地を土砂置場に活用は可能か』

費用負担を考えて検討

問 河川整備の実施や本名バイパス工事（トンネル）で土砂置き場等の問題発生も考えられる。災害復旧された農地を有効利用するためには、どんな

方法が一番いいのか伺う。
答 町長 災害復旧を含め国の補助事業で造成した農地や施設は、一定の期間が過ぎるまでは勝手に処分できません。その期間

は、田畑の場合は8年間、水路や道路、橋梁などの施設は、10年から60年となっています。ただし、嵩上げて農地に戻す場合や区画割りを大きくするよう

な時は、補助金の返還が発生しない事もあります。今後は、土砂置き場問題については、費用負担を含め、福島県や発電事業者とともに検討していきます。



再整備が進められる、沼沢湖周辺

黒川廣志議員の 一般質問



『振興計画と豪雨災害の復興計画の整合性は！』

できるだけ実施している

問 復興計画と振興計画との整合性について伺う。

「策定段階から審議会に諮り、点検・評価も住民の視点で適時、柔軟に見直す」としている。復興計画の未実施重点事業は。

問① 高齢者共同住宅建設は。

答 住民課長 振興計画後期の実施計画の中で、平成29年度から30年度、各2000万円ずつの事業費

を計画しました。高齢者共同住宅検討委員会からの提案を受け、29年度から旧村単位に、空き家等を利用した共同住宅の整備を実施計画の中に入れました。

問② 沼沢湖周辺整備は。

答 町長 今年沼沢湖周辺で整備を始めます。植樹祭を計画しました。両沼地

方の植樹祭の順番が金山に回ってきたので、これをきっかけとして、沼沢湖周辺の再整備を図っていくと考えました。

問③ 安全・安心な生活の確保を目指し、ハザードマップ作成を予算化した

答 建設課長 年度内に

全戸に配布して、いつでも見てもらえる形にします。

問 宝の持ち腐れじゃないかと思う。この地球温暖化の中で、いづどんな災害が起こるかわからない。

ハザードマップを活用した各地区における防災訓練計画、これを当然策定すべきと思うが、どうか。

答 総務課長 23年の豪雨災害では「地区の中で安全に避難した」という住民意識の高さがあったと思います。ハザードマップを活用した地区の中での防災に対する計画等についても、町として意識を高めるような方策を図っていきます。

『熱水資源を活用した通年型農業等の事業とは！』

できるだけ協力したい

問 NET会津(株)から金山町の皆様へと題し「熱水資源を活用し①ハウス栽培による通年型農業②地熱発電③冬期融雪の事業計画」の説明会資料がある。議会で話もなく説明会を実施したと聞くが、町長は議会との関係は車の両輪と常々明言している。言行不一致ではないか。

問① 議会軽視だ。

答 町長 手順とか間違つたものは素直に謝ります。就任したときから、「議会と町のほうで何の案件がなくても月に1回ぐらいは集まってみんなで意見交換でもしたらどうですか」という話を何回か持ちかけたことがあります。それを、「いや、議事録のないものはやったってしょうがない」というような返

事で、結局そういうことも流れで来ているわけです。最初の段階から議会の皆さんと色々話をして、ことを進めていけば、もっとスムーズにいくだろうと私は思います。これからは議会もぜひとも協力していただきたいと思います。

問② 何時何処で説明したのか。

答 町長 10月30日に中川と大志地区を対象とした事業説明会を実施し、町からも参加しました。

問③ 説明会後の経過は。

答 町長 事業を進めるか否かを含め、どうなるかは不透明なところです。町としては、町の発展につながる事業については、この事業者に限らずできるだけ協力していきたいと考えています。



奥高伸議員の 一般質問

『介護保険の利用について』

いつでも聞いて欲しい

問 町内の高齢化は急速に進み、今後介護保険サービスの利用希望者は急激に増加するものと考えられる。しかし「介護保険制度は分かりにくく利用しづらい」と言う声も多い。介護保険サービスの現状と課題について伺う。

答 町長 原則65歳から利用できます。ただし、65

歳未満の方でも要介護要支援の認定を受けた方はサービスを利用できます。

問② 利用手続きの申請はどこで行う。

答 町長 役場の介護担当。それから、地域包括支援センターの職員が訪問した際に相談を受ける場合、両方あります。

問③ 介護のための修繕、介護用具の利用は介護保険で可能か。

答 町長 要介護認定基準にもよりますが、住宅

改修の場合、手すりの設置や段差解消、引き戸や洋式便器への取り替えなどが可能です。また、介護ベッドや車椅子等のレンタルができます。

問④ 地域密着型サービスの町の対応は。

答 町長 現在、町内には中川にあるグループホームがこのサービスを提供しています。グループホームが組織する運営協議会に委員として1名参加し、実績等の報告を受け

ています。また、本年4月から横田デイサービスが地域密着型サービスに移管されますが、今までと利用状況が変わるといふことはありません。

問 私が聞きたいのは、夜間対応型の訪問介護等のこと。きめ細かなサービスが無ければ、高齢者は生きていけない。

答 町長 議員のおっしゃるとおりだと思います。色々な検討会議でその件はかなり多く出てきます。

問 町として今現在、24時間対応できるかというところ。正直言ってできないというのが現状であります。

問⑤ 特別養護老人ホーム、グループホームの利用料金は。

答 町長 グループホームの場合、要介護認定基準にもよりますが月額13万円弱です。また、特別養護老人ホームの場合も認定基準により個人差はありますが月額5万から7万円となります。



多くの人が集まった、
“妖精の里かねやま”ツーデーウォーク(平成21年)

『復興ウォーキングで町に活力を』

ご意見として伺う

問 「新潟・福島豪雨災害」によって只見川沿岸を中心に大きな被害に見舞われた。発生直後より国県始め多くの方々に支援を頂き復旧も進み被災当事者等を除くと災害への意識も薄れてきていると思

う。被災当時の状況を思い起こし住民の防災意識の高揚を図ると共に当時支援を頂いた多くの方々にも参加を呼びかけ今後の町づくり、復興への一助となるような被災地域をつなぐウォーキング大会

の開催を提案する。

答 町長 災害復興に関する催しを行うというのも一つのご意見として承りますが、町には只見線の復旧、河川整備計画に基づく対策の早期実現など、取り組むべき重要な課題が

多数残っています。今後は復興計画を始めとした各種計画に基づく施策を一層推進するとともに、被災当時お力をいただいた多くのボランティアや関係者の方々には町の明るい話題を発信していきます。



高齢者宅の除雪をするボランティア



加藤賢享議員の 一般質問

『高齢者が安心して暮らせる町づくりを！』

全体を見て考える

問 冬の日常生活に不便を感じる高齢者が増えている。町の高齢化率は、58.1%。この数字は日々上がっている。老老世帯や一人暮らしの方も増加中。問①高齢者の現状についての認識は。

答 町長 75歳以上の一人暮らしの世帯数は200世帯超。また、ご壮健で各分野において活躍されている方々が大量にいる。

る一方で、介護認定を受けている方が約22%。さらには地域包括支援センターの調査によれば認知症の割合が他市町村に比べ高いという結果が出ているなど、不安を抱えている生活している方も大勢おられると認識しています。

問② 町の財源には限りがある。高齢者に対する予算配分は。

答 町長 町はシルバークーリエ構想を推進し、高齢者の支援に様々な予算を計上しています。町の施策として若者の定住や

少子化対策、産業の振興や交流人口の拡大など様々な事業の展開が必要となります。全体のバランスを考慮しながら、高齢者の方にとって必要な事業には十分配慮した予算の配分を考えたいと思います。

問 今、お年寄りが困っているところを助けてやるのが我々の任務だと私は思う。第四次金山町振興計画に「妖精美術館・自然休養センター、若者交流センター、これらの多くの公有財産の管理が町の大きな負担」と書かれている。

「それを早く改築すべきだ」と言う人がいる。それよりもお年寄りを助けてやるのが我々の任務だと思う。どう思う町長。

答 町長 高齢者対策はもちろん大事です。また、公有財産もしっかりと管理・運営していく必要があります。今まではこれを怠っていたかもしれない。これからはしっかりと管理していく必要性があると思っています。

問 理解でない。前回、玉梨の小学校の跡地、これを改築したいという話を聞いた。年間維持費が93万円で、収入が5万円。いっぱい人が来ていれば別だが。こういう無駄金があるなら、お年寄りを助けてやりましょう。お年寄りに幸せな家庭をつくらせたい。町長は、「きれいなまちづくり」と言っていますが、花見山なんていうこともちょっと聞いたことあります。お年寄りの心に花を咲かせたらどうですか。お願いします。

答 町長 議員の提案をしっかりと受け止めさせていただきます。

『簡易水道事業について』

地区の声に耳を傾ける

問 水道未普及地区について安全・安心で安定した水道の供給が求められている。地区の組合が管理・運営する飲料水供給施設のあり方や水道未普及地

区の解消に向けて、具体的にどう取組むか伺う。

答 町長 町が管理しない地区水道が田沢と水沼の2カ所。水道未普及地区が三更、高倉、玉梨湯

ノ上、小栗山坂井、太郎布上野沢、水沼舟場地区の6地区存在します。町としては、地区の声に耳を傾け、一方的に町水道の設置を進めるのではなく、

く、何が最良なのかを見きわめ、その場所に合った対策を講じることで町民が安全で安心した水を飲めるよう努めていきます。



野尻川災害現場 護岸や河床が流出している

高橋信彦議員の 一般質問



『野尻川災害復旧について』

福島県と協議していく

問 昨年9月の野尻川出水による被害で、八町温泉対岸の護岸が大きな被害を受けた。加えて周辺の源泉の湧出量が激減し、町で建設中の「保養センター」にも影響が出てくると思う。町の重要な観光資源である源泉の確保に対し、どのような対策を講じるのか。

答 町長 被害を受けた玉梨温泉下流の護岸については、福島県が管理する河川なので、県が災害復旧事業を行います。工事の内容は元通りの護岸に復旧するというものです。施工の時期については国との設計協議と出水時期を避けるため、早くても8月

後、玉梨側の温泉も少なくなつたという話も聞いております。そのため、野尻川の水位を早急に上げてもらいたい旨、県に要望しています。災害復旧事業や既定予算の中では難しい、改めて河川改修工事を要望してもらいたい」との回答を受けています。

問 大事な地下資源だ。ぜひ単なる護岸復旧工事というのではなく、源泉も同時に守れる事業にしたい。いただきたい。

答 町長 玉梨八町温泉は町にとつて貴重な観光資源です。それなりの対応をしていかなければいけないと心に思っています。

『地域おこし協力隊について』

3年後の自立を考えて判断

問 金山町の活性化策の一つの事業ですが、最近はその活動が見えてくるようになり、今後の更なる活躍を期待しているところですが、採用に当たっては、定住促進に向け、本人の意向を十分に取り入れ、単なる「労働力不足解消事業」とならないようにすべきだが、町の考えは。

答 復興政策課長 選考（採用）の基準は、3年後、

活動期間後の定住に結びつくこと、この1点に限り、この可能性を考えて、総合的に町で判断しました。

問 今後は、応募者に金山町の色々なメニュー（課題）を示しながら、隊員に選んでもらったほうが、定住率が上がると思うが。

答 町長 地域おこし協力隊の制度は、町にとつて有効な手段だと思ってい

ます。金山町に、よそから来てもらって、その活力を使い、この町を活性化させてもらうという大きな目標があるわけです。そこで一番重要なことは、3年間従事したその中で、地域おこし協力隊というのを見知らぬところに来るわけです。そんな中で大変不安もあるし、ところが半面、個性的に強い人もいっぱいいます。従事する人と雇

用する人たちと、お互いを認め合う許容の大きさと、まうものがないと、中々うまくいかない面もあると思います。人間関係がうまくいくか、いかないか、強い個性の人を受け入れられるか、お互いを認めあえるか、それが重要だと思います。また、そのぐらいの個性のある人でないと、余り役に立たないという側面もあると私は思います。



ヒメマスを放流する解禁記念式典参加者



青柳ヨシ子議員の 一般質問

『ダム災害について』

問①河川整備によって耕地が潰れることで米作りに支障は無いのか。

答 町長 当該河川整備事業は町民が安全・安心に暮らせるまちづくりのために必要な事業であることから、やむを得ないものと考えています。問②越川地区に計画されている浚渫用の船着場は地区農業にマイナス面が

多いと考えるが、町はどのように対応するか。

答 町長 予定地は地区の優良農地ですが、河川の堆積土砂を排除するためには必要不可欠な施設であり、地域の安全・安心を守ることに最優先であると考えています。なお、地区からの要望、問い合わせには丁寧に対応していきたいと考えています。問③堤防建設によって農

地等の利用に支障はないか。

答 町長 工事の実施計画の策定前に事業者である福島県と協議し、農地の耕作に支障が出ないよう求めています。問④ダムにバイパスを作り、水位上昇を低減させるべきではないか。

答 町長 確かに有効であり、ダム上流の水位は下がり、護岸工事も必要なくなる箇所も出てくると思われれます。ただし、発電事業者にはダムのバイパスをつくる義務はありませんので、その費用は河川管理者である福島県の負担となります。バイパス工事には数百億円の仕事費が必要で、費用面からダムの改造よりも護岸を高くしたほうが良いというところで事業を進めています。

問⑤只見線の復旧に、電源開発・東北電力の協力を求めるべきでは。

答 町長 落橋箇所の復旧に当たり発電事業者を利用負担を求めるかどうかはJRRが判断することと考えています。町としては、発電事業者に対しては、只見川沿岸住民の安全・安心対策と町の振興について、引き続きご協力を求めています。

地域の安全・安心を優先

『原発事故から5年 金山町の放射能汚染について』

線量は下がっている

問①沼沢湖のヒメマスについて、どのような対策があるか。

答 町長 ヒメマスは町にとって大切なブランドであり、かけがえのない特産品であることから、東京電力に対し資源回復につながる措置を講ずるよう

5回にわたり要請しましたが、現在のところ具体的な回答は得ておりません。また、県内水面試験場などの調査によると、成魚のセシウム濃度は春に高く秋に低い傾向にあります。県が採捕解除を判断する基準は安定的に50ベクレル

を下回ることであり、昨年6月以降はこの基準を満たしていることから、今年の春以降の検査で採捕解除の目安をつけられればと考えています。

問②全国の原発を廃炉にすることが一番求められていると思うが、町長の

見解は。

答 町長 東京電力福島第一原子力発電所の事故を踏まえ、県内原発については全基廃炉にすべきであり、全国においても可能な限り原発への依存は減らすべきと考えています。



先生と一緒に「記念撮影」緊張している新1年生

横田正敏議員の 一般質問



『定住促進のための「係」設置を』

現在は考えていない

問 減っていく職員、厳しい財政状況など、限られた資源の中で町民満足度の高い行政サービスをするためには、今ある資源を最大限に活用し、費用対効果を意識した低コストで質の良い行政運営を推進していかなければならない。問①定住促進を進めるための「係」が必要ではないか。

答 町長 新年度からの

組織の改編は行いません。問②只見川河川整備計画の早期実現に向けて、住民に寄り添った整備が進められるよう、町として支援するための「係」が必要ではないか。

答 町長 河川整備計画については、県の事業です。44年の災害のときには確かに町と東北電力とで一緒に事業を行った経緯があります。ただ、今回の場

合44年の災害の対応と違い、県や国の事業です。町から直接の担当者をつけるといことは現在のところ考えていません。問③副町長の職務は、地方自治法第167条に「町長の命を受けて政策・企画をつかさどり、職員の担任する事務を監督する」とあり、町民の期待は大きい。達成度について伺う。

答 副町長 金山町に着

任して1年たちました。この間、金山町の振興・発展のために何が必要かといったことを常に頭の中心に置きながら職務に当たってきました。何分初めての土地で、初めての特別職だということもあり不十分な点、多々あったかと思いますが、町長を始め議員の皆さん、また職員の皆さんのおかげで何とかここまでやってきたのかなと思

っています。この町に来て思っています。この町に来て思ったのは、やはり魅力は沢山あります。人柄も皆さん良い人がそろっています。何とかすれば、この魅力がちゃんと伝われば、きっと金山町に定住する人が増えてくるだろうと思っています。何とかして仕事場をつくり、この魅力が伝わるようにすることが町として重要な課題だと思っています。

『地域一体型ふるさと教育の推進について』

少人数教育の成果

問 「小1プロブレム」、 「中1ギャップ」の解消をどのようにしていくのか。

答 教育長 金山町ではそのような問題を解消するために保育所と小学校、小学校と中学校の連携を深め、お互いの生活について改善していくこと

を進めています。一日入学などにより学校の様子を見学したり、部活に参加したり、または中学校の先生に授業をしていただりして学校生活の理解を深める等の対応をしています。金山町では、一人ひとりに対応した生徒指導がしっかりと行わ

れていることから、小1プロブレム、中1ギャップもほとんど見られません。不登校についてもこの10年間ほど出ていません。少人数教育の成果であると考えています。

問 早期の教育が子供に決定的な影響を与えると考えるが、就学前教育に

ついてどう考えるか。
答 教育長 議員の言葉のとおり、非認知スキル（思いやり・やり抜く力・協調性・自制心・意欲・自尊心・信頼）が就学前の児童に大変大切だと思っています。住民課（保育所）と連携をとりながら協力して進めていきます。



加工場に使用できないのか、小栗山の「生活体験館」

栗城康太郎議員の 一般質問



『第四次振興計画（後期）と町総合戦略及び選挙公約の実現について』

取り組んでいく

問 選挙公約のほとんどが振興計画や総合戦略に網羅されており、選挙公約の実現は即ち振興計画や総合戦略の実現であると思うがどうか。

問① どのようにして町民の声を把握し町政に反映させるか。

答 町長 区長会で各行政区長から地域の課題等をお聞きし、まちづくり懇

談会では、各行政区に赴き、

直接町民の皆さんからのご意見をお聞きしていただきます。そのほか、私自ら地域を回り、住民一人ひとりの意見と地域の課題につ

いて把握し、その都度職員と対応策について考え、町政に反映しています。

問② 6次産業化における生産と加工の現状、今後の取り組みについて。

答 町長 6次化の過程で最も重要なのは生産と加工です。生産については、赤カボチャ、エゴマなどの地域特産農産物の作付面

積、生産量を増やすための支援を行っています。加工

については、既存のフリーズドライ施設の有効活用を図るため、施設利用料金の助成を来年度当初予算

に計上しました。また、農産物加工施設は、来年度に国の新規交付金事業に申請します。商品開発につ

ては、徐々にではありませんが、新商品が増えています。今後

も生産者、加工者と連携をとりながら、6次産業化の推進に積極的に取り組んでいきます。

問 既存の施設を改修し、例えば小栗山にある生活体験館、そこには調理設備が整っている。そういう場所を改善して、一つでも先駆けてスピード感を持って実施することが重要ではないか。

答 町長 加工施設については何年も前から色々議論して来ましたが、やはりスピード感を持って、今の内だと後継者育成もできる、そういう指導をされる高齢者の方々もまだまだおられますので、既存の施設を使いながらやるか、あるいはその交付金の内容

によつてはまた別な方法も考えられるか、その辺を

検討、見きわめながら対応していきたいと思っています。

問③ 金山町民憲章実践の具体的方策について。

答 町長 金山町民憲章は、町民として町で暮らしていくための基本的な姿勢を示したもので、昭和60年に制定されました。生涯学習カレンダーへの掲載や、毎月発行の広報かねやまでも紹介し、町民への周知を図っています。心豊かにまちづくりを進める礎にしたいと考えています。

『玉梨温泉 野尻川左岸の災害復旧は』

慎重に検討する

問 河床の復旧を求める考えはないか。

答 町長 議員が言われる床土工や護岸工は、災害復旧以外の部分になり

ます。河川改修で要望していきます。

問 中井湯、八町湯の源泉復旧について支援する考えはないか。

答 町長 温泉が町の貴重な観光資源であることは議員ご指摘のとおりですが、源泉の復旧に対する支援については、公益性や

有効性の観点、充てられる財源、玉梨・八町温泉開発組合の財務状況などを総合的に勘案し、慎重に検討した上で判断します。



「幸運」

毎年この時期に、多くの別れと出会いがあり、それぞれの人生に大きな影響を与える事が多々ある。後年になり「あの時が…だったな」と思う。

三十歳になった頃、上司から教えられた。

『人生には三度チャンスが来る。一回目は自分の脇を歩いて通り過ぎて行き、二回目は、自転車に乗って近づいてくる、三度目はオートバイに乗ってやって来る』

一度目、「幸運」は歩いて近づいてくる、『一緒にこうよ!』と無言で誘ってくれるが、気づく人は少ない。二度目は、自転車の音に「気づき」はあるが、「幸運の自転車」に飛び乗るのはちょっと「勇気」が必要だ。三度目はオートバイの、けたたましいエンジン音と共に近づいて来るが、後部席に飛び乗るのには相当の「覚悟」が必要になってくる。

人生様々であり、早ければ良いと言う事でもない。十分に準備をして「事を起こす」人生もある。

幸運と仲良くなるには、「感性」と「ひらめき」が必要だ。

「感性」は天性のものであるが、「閃き」は知識と知恵の融合である。

色々な事に興味を持つ事は、脳を活性化させ、長生きにも通じる。地域活動にも積極的に参加し、「幸運の窓」を開きたいものである。

上司曰く、『運と言うものは、ヌルヌルしていて掴み難いものである。だから、「運の尻尾」を掴んだら、いつも手繰り寄せる努力をしないと本物は掴めない』と。

(高橋 信彦)

只見線早期全線復旧を願う 只見町民の集いに金山町民も多数参加

4月23日に、「JR只見線の早期復旧を求める只見町民の集い」が、只見町の湯ら里で行われました。会場には金山町議会議員を始め多くの金山町民が参加しました。新潟県魚沼市の住民も含め約400人が、只見線の早期全線復旧を願いました。集いでは、只見線の利用促進と全線復旧を目指す活動を推進する「決議文」の採択や、パネル討論が行われました。



ごあんない

次回の定例会は、6月10日ごろ開会の予定です。
一般質問は6月13日ごろとなります。

お気軽に傍聴においで下さい。

○役場1階の受付で「傍聴券」を受け取り
4階の議場においで下さい。

〔発行責任者〕

議長 五ノ井清二

〔編集委員〕

委員長 馬場 清次

副委員長 黒川 廣志

委員 栗城康太郎

〃 青柳ヨシ子

〃 加藤 賢享

次回、金山議会日より

第194号は、8月上旬
ごろ発行の予定です。